

(広報資料)



令和3年5月28日
京都市環境政策局
〔担当：循環型社会推進部資源循環推進課〕
TEL：213-4930

令和2年度のごみ量について

令和2年度のごみ量（市受入量）は、これまでの長年にわたる市民・事業者の皆様の御尽力の結果、ピーク時（平成12年度，82万トン）から20年連続で減少し，385，296トン（対前年度比△23，834トン，対前年度比△5.8%）となり，「新・京都市ごみ半減プラン」の目標（39万トン）を達成しました。

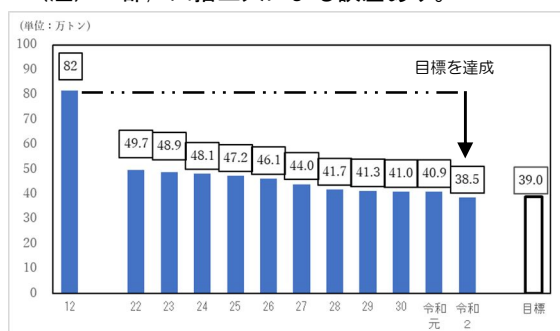
令和2年度のごみ量の減少は，新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動への影響を受け，事業ごみが大きく減少したことが要因となっています。

今後は，令和3年3月に策定した「京都市循環型社会推進基本計画（2021-2030）」に基づき，引き続き市民・事業者の皆様とともに，ごみの発生抑制や資源循環を推進し，持続可能な循環型社会の構築を目指してまいります。

(単位：万トン)

	平成12年度 (ピーク時)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
家庭ごみ	35	21.4	21.2	21.6
対前年度比(増減率)	—	△0.2(△1.2%)	△0.2(△0.6%)	0.4(1.7%)
対ピーク時(増減率)	—	△13.6(△38%)	△13.8(△38%)	△13.4(△37%)
うち燃やすごみ	32	18.4	18.3	18.4
対前年度比(増減率)	—	△0.2(△1.2%)	△0.1(△0.3%)	0.1(0.5%)
対ピーク時(増減率)	—	△13.6(△42%)	△13.7(△42%)	△13.6(△42%)
事業ごみ	47	19.6	19.7	16.9
対前年度比(増減率)	—	△0.1(△0.4%)	0.1(+0.3%)	△2.8(△13.9%)
対ピーク時(増減率)	—	△27.4(△58%)	△27.3(△58%)	△30.1(△64%)
市受入量	82	41.0	40.9	38.5(385,296トン)
対前年度比(増減率)	—	△0.3(△0.8%)	△0.06(△0.2%)	△2.4(△5.8%)
対ピーク時(増減率)	—	△41.0(△50%)	△41.1(△50%)	△43.5(△53%)

(注) 一部，四捨五入による誤差あり。



市民1人1日当たりの家庭ごみ量は406グラム

コロナ禍での新しい生活様式への移行に伴い，プラスチックごみなどの家庭ごみが増加しています。

※ 令和元年度の市民1人1日当たりの家庭ごみ量

京都市：396グラム（他の政令指定都市平均の7割）

他の政令指定都市平均：556グラム

〔市民一人当たりのごみ量は平成27年度国勢調査に基づく推計人口によるものであり，令和2年度国勢調査による遡及修正値の公表後に修正予定です。〕

〔出典：環境省 令和元年度 一般廃棄物処理事業実態調査〕※令和2年度の他の政令市のごみ量は未公表



ごごみちゃん

ごみ処理コストの大幅な削減も実現！ ⇒ピーク時比△144億円/年

(平成14年度 367億円→令和元年度 224億円)

＜主な内容＞ ・ クリーンセンター（清掃工場） 5箇所 ⇒ 3箇所

・ 家庭ごみの収集車両稼働台数 258台/日 ⇒ 187台/日



めぐるくん